

# 校歌が児童・生徒に与える影響——卒業生から見た校歌

The effects of school songs on students: school songs from the viewpoint of graduates

次世代教育学部学級経営学科

小川 隆章

OGAWA, Taka-aki

Department of Classroom Management

Faculty of Education for Future Generations

三重短期大学

東福寺一郎

TOFUKUJI, Ichiro

Department of Life & Environmental Science

Tsu City College

**キーワード**：校歌，学校生活の思い出，愛着，電子掲示板

**Abstract**：The purpose of the present study was to have known what influence the school song exerted on the children and adolescents. 399 college students answered to our questionnaire concerning school songs which they had sung in their elementary school, the junior high school, and the high school periods.

The majority of college students answered that they had liked the school songs, and were able to remember the songs at least partially. They thought the school songs were necessary, and hoped the school songs to be long sung.

As additional data, the comments concerning the topic of school songs by about 50 general members of society on the bulletin board that are attached to the homepage of the Yomiuri Shimbun (one of major newspapers in Japan) were analysed. In these comments the majority of people affirmatively caught the school song. People left from the hometown recall the hometown, classmates, teachers and past school lives by singing the school songs. On the other hand, people who live in the hometown sing the school song with children.

Consideration of these data suggested that school songs were helpful to teach pride and attachment to schools and hometowns for students.

**Keywords**：school song, attachment to school, attachment to hometown, bulletin board system

## 【研究の目的】

日本の小・中学校，高校の殆どの学校で校歌が制定されていて，入学式・卒業式などの式典の際などに校歌の斉唱が行われる。校訓・校章・校旗などとともに学校を象徴し，学校と地域への帰属意識を高めて，愛着と誇りを促進する機能を持つように見える。児童・生徒は校歌をどう受け止めているのだろうか。小川（2008）は，環境心理学を受講していた10人の学生に各自が小中学校・高校時代に歌った校歌についてレ

ポートを書いてもらった。10人という少数の学生たちであったが，幸い北海道から沖縄まで，出身地が多様な学生たちだった。彼らのレポートを読むと，一般的に校歌に懐かしみを抱き，学校・郷土・同窓生に愛着を促進した校歌の持つ意味を肯定的に評価していた。

そこで，今度は多数の学生たちを対象に，質問紙調査によって各自が小・中・高校時代に歌った校歌をどのように受け止めているのかを調査したいと思っていた。ちょうどタイミング良く，我々の狙いに似た調査を行った報告を目にすることになった（宮島幸子

2008)。宮島は音楽の専門家として短期大学の「音楽の喜び」という授業の受講者240名を対象に、小中学校の時に歌った校歌について、「好き／嫌い」「校歌を思い出すことがあるか」、「校歌から連想することは」「校歌は必要だと思うか」「長く歌い継がれた方がよいと思うか」等の質問への回答を集計した。学生は女子が多かったのだろうか、男女別集計は載せられていない。「校歌のどこが好きか」について、「メロディも歌詞も好き」は小学校校歌で31%、中学校校歌では21%であった。「校歌を思い出すことは、小学校校歌21%、中学校校歌で9%、両方ともは49%。「校歌は必要だと思いますか」に、必要93%、「長く歌い継がれた方がよいとおもいますか」に、「歌い継がれた方がよい」は93%となっている。

これを受けて我々は、同様の質問紙調査を行い、高校の校歌についても尋ね、男女別の傾向を把握し、学校卒業後に同じ地域に住む人と地域を離れて生活している人の間で違いが有るかどうかにしても見て行くとともに、各質問項目間のクロス集計も行って見ることにしたい。また、大学生だけでなく、学校卒業後に長い年月を経過した一般社会人にもなんらかの仕方で校歌についての意識を尋ねてみることにした。

## 【方法】

宮島幸子(2008)にならって、大学生に各自の小・中学校・高校の校歌について回想して回答を求めることにした。今回はこの調査項目を借用し、高校の校歌についても回答を求め、回答者の男女別、現住所(学校時代と同じところに住んでいるか、別のところに住んでいるか)別の集計と項目間のクロス集計を試みたい。今回は三重県の公立短期大学の学生および岡山県の私立大学の心理学関係の授業の受講者合計399人(男子141名、女子258名)の回答を集計した。

また、大学生だけでなく一般社会人にも出身学校で歌った校歌について、どのように受け止めて居るか回答を得るため読売新聞社のホームページの「発言小町」という掲示板を使わせてもらうことにした。「発言小町」ではいくつかのカテゴリーについて読者がトピックスを立てると一般の人々が意見・感想等を自由に書き込めるようになっている。本年3月3日、この発言小町の「話題」のカテゴリーに「校歌はお好きですか?」と題してトピックスを立てて一般の人々に書き込みを求めてみた。

「小学校から中学・高校、大学でも学校の式典

では校歌の斉唱があって参列者全員で歌われます。卒業して何年か経過して、同窓会のときは昔のクラスメートと一緒に校歌を歌うこともあるでしょう。郷里を離れた人は友だちのことを思い出すとき、郷里に帰りたくなったときなど、出身校の校歌の一節をふと口ずさむ方もいらっしゃるでしょうか。

皆さんにお聞きしたいです。卒業された学校の校歌は好きですか?校歌の歌詞あるいはメロディーを思い出しますか?どんな時に思い出されますか?校歌は必要だと思いますか?長く歌い継がれていった方がよいと思いますか?

校歌とあなたのかかわりについて、なんでもお聞かせいただきたいです。

(私は60代の大学教師で虫めがねと申します)」という内容であった。

<http://komachi.yomiuri.co.jp/t/2010/0303/298789.htm?g=01>

## 【結果】

### I. 大学生に対する小・中学校・高校の校歌に関する調査

回答者数、男子141名、女子258名、計399名の回答を得られた。

「現在も小学校通学時と同じ地域に住む」、36.5% (男子25.0%、女子42.8%)

「現在も中学校通学時と同じ地域に住む」、37.3% (男子25.0%、女子44.0%)

「現在も高校通学時と同じ地域に住む」、35.6% (男子22.9%、女子42.6%)

通学時と同じ地域に住む学生と別の地域に住む学生の比率は顕著な男女差があった。

(1) 小学校校歌の歌詞・メロディを覚えて居るか

歌詞・メロディとも覚えている、75.9% (男子55.2%、女子81.8%)、

歌詞のみ覚えている、3.0% (男子2.8%、女子3.1%)、  
メロディのみ、10.5% (男子14.9%、女子8.1%)、

歌詞・メロディとも覚えていない、10.5% (男子17.0%、7.0%)

これを見ると、女子の方が良く覚えて居る。

(男女差、カイ二乗=15.99, df=3, p<.002)

小学校校歌の歌詞・メロディを覚えているか × 性別

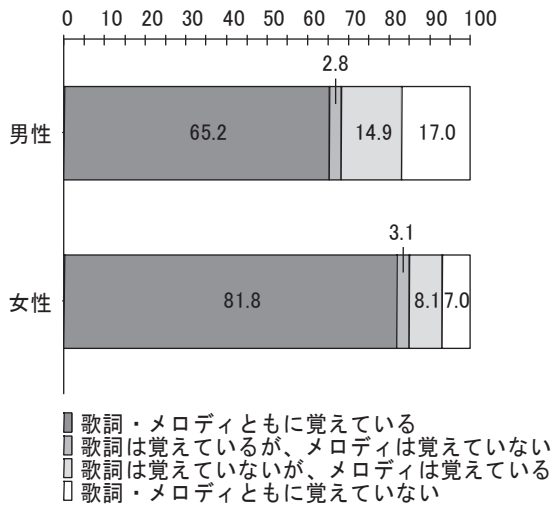


図1. 小学校校歌の歌詞・メロディを覚えて居るか

(2) 中学校校歌の歌詞・メロディを覚えて居るか

歌詞・メロディとも覚えている・・・69.3%  
 歌詞のみ・・・2.5%  
 メロディのみ・・・9.8%  
 両方とも覚えていない・・・18.4%

(3) 高校校歌の歌詞・メロディを覚えて居るか

歌詞・メロディとも覚えている・・・76.3%  
 歌詞のみ・・・1.6%  
 メロディのみ・・・6.9%  
 両方ともおぼえていない・・・15.3%

(4) 覚えていない理由

6年間歌っていない、時間がたっているから、忘れた (小)、

あまり歌わなかった、印象が薄かった、自分でもわからない、忘れた (中)、

なぜかわからない、沢山うたったのになぜかわからない、あまり歌う(聞く)機会がなかったから、高校に愛着がなくあまり練習させられなかったから (高)、などが多い。

(5) 小学校校歌を思い出すことがあるか

ある・・・36.9% (男子29.1%, 女子41.2%)

女子の方が思い出す人が有意に多い (カイ二乗 = 5.79, df = 1, p < .025)。

(6) 中学校校歌を思い出すことがあるか

ある・・・34.9%

(7) 高校校歌を思い出すことがあるか

ある・・・43.6%

高校校歌を思い出すことがあるか × 性別

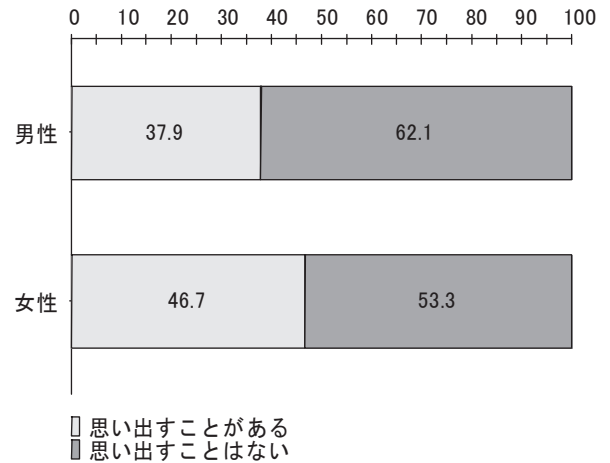


図2. 高校校歌を思い出すことがあるか

(8) 校歌を思い出すきっかけは

友だちに会ったとき・思いだそうとしたとき、近くを通った時、当時のことを思い出す時、自分の出身地のことを考えた時、校歌に出てくる場所に行った時、夜空を見ている時、小学生を見た時、妹が歌っている時 (小)、

ふとした時・友だちと会った時、近くを通った時、中学生を見た時、歌詞と同じ言葉を聞いた時、無意識に口ずさむ (中)、

地元へ帰った時・友達と会った時、クラブのことを思い出す時、地元へ帰った時、学校を見た時、昼休みに流れていたのが昼時にふと、当時のことを思い出す時、ふとした時 (高)

(9) 小学校校歌は好きだったか

歌詞・メロディとも好きだった・・・48.9%  
 歌詞のみ・・・3.3%  
 メロディのみ・・・8.6%  
 嫌い・・・2.8%  
 覚えていない・・・36.5%

(10) 中学校校歌は好きだったか

歌詞・メロディとも好きだった・・・47.5%  
 歌詞のみ・・・2.5%

メロディのみ・・・8.3%  
 嫌いだった・・・4.0%  
 どちらでもない。覚えていない・・・37.7%

(11) 高校校歌は好きだったか

歌詞・メロディとも好きだった・・・50.9% (男子49.3%, 女子51.8%),

歌詞のみ・・・3.3% (男子4.3%, 女子2.8%),

メロディのみ・・・5.9% (男子4.3%, 女子6.7%),

嫌いだった・・・5.1% (男子9.4%, 女子2.8%),

どちらともいえない, 覚えていない・・・34.8% (男子32.6%, 女子36.0%)

「校歌が好きだったか」については高校校歌についてのみ男女差が有意である (カイ二乗=9.65, df= 4, p<.05)。

高校校歌は好きだったか × 性別

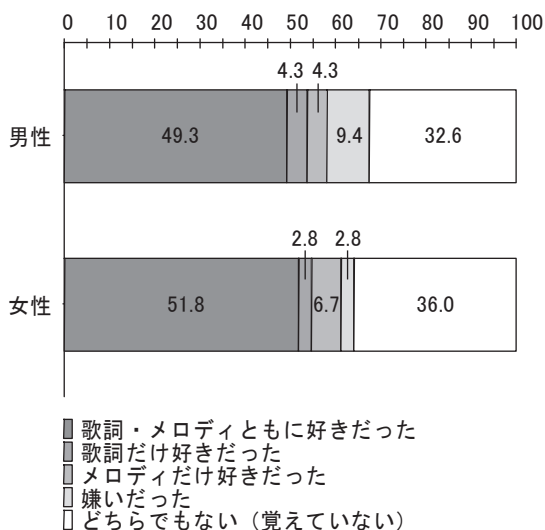


図3. 高校校歌を好きだったか

(12) 校歌から連想するもの

入学式, 卒業式, 運動会, 学校行事・式典・集会・体育館, 学校の周りの山や川, 海など, 伝統・歴史や思想, 当時の思い出, 学校の雰囲気, 学校生活, 学校から見える風景, 先生, 友達, 当時の思い出, 学校, 校風, 学校の風格, 懐かしさ, 校則, 校訓, 授業, 故郷, 地元・地域, 愛校心, 団結力, ホームルーム, 港, 季節, 部活, 試合, サッカー, 健やかに育つ, 真面目な歌, 固い, 強制的に歌わされるもの, 難しい言葉, 眠くなる, 面倒くさい

(13) 校歌は必要だと思うか

「必要」が91.1% (男子91.1%, 女子93.8%)

「必要でない」7.2% (男子8.9%, 女子6.3%)

であった。男女とも必要だと90%以上が回答している。有意な性差は無い。

校歌は必要だと思うか × 性別

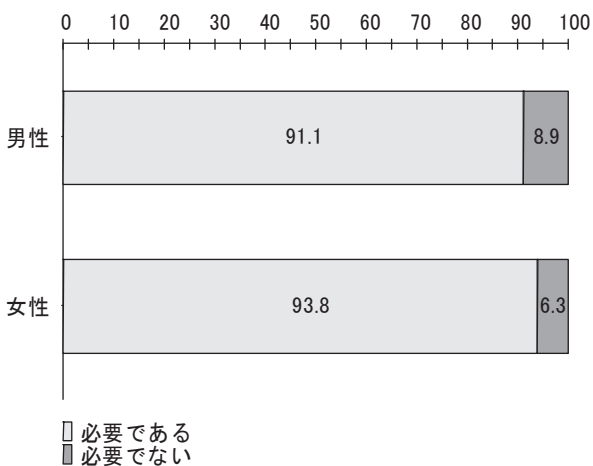


図4. 校歌は必要だと思うか

(14) 必要な理由

学校を象徴するものだから,  
 その学校らしさだから,  
 学校に愛着を持つため,  
 思い出になるから,  
 行事・式典に必要,  
 その学校に居る誇りを持つため,  
 その学校らしさだから,  
 国歌がある理由と一緒に,  
 学校や地域の歴史を誇るものだから,  
 テーマ曲的存在だから,  
 みんなで歌うことでひとつになれる,  
 「必要ない理由」  
 誰も歌っていない,  
 練習の時間とか必要ない,  
 歌うところがそこだけだから,  
 あっても意味がない,  
 有っても無くても変わらない,

興味深い結果として、「校歌は嫌い」「覚えて居ない」「思い出さない」と回答している者でも過半数の人が「校歌は必要だ」と答えて居ることだ。

校歌は必要だと思うか × 小学校校歌は好きだったか

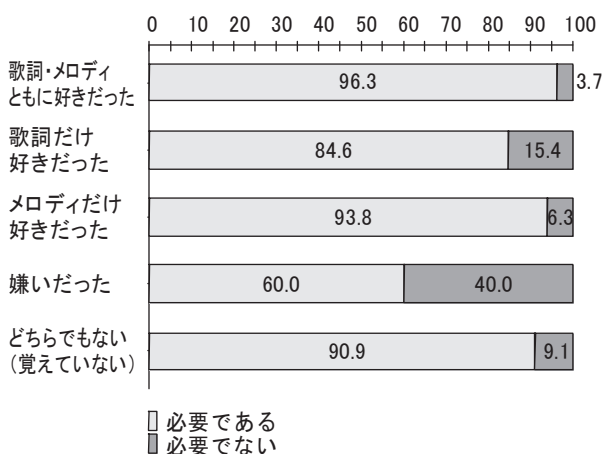


図5. 小学校校歌の好き嫌い と校歌の必要性

校歌は必要だと思うか × 中学校校歌の歌詞・メロディを覚えているか

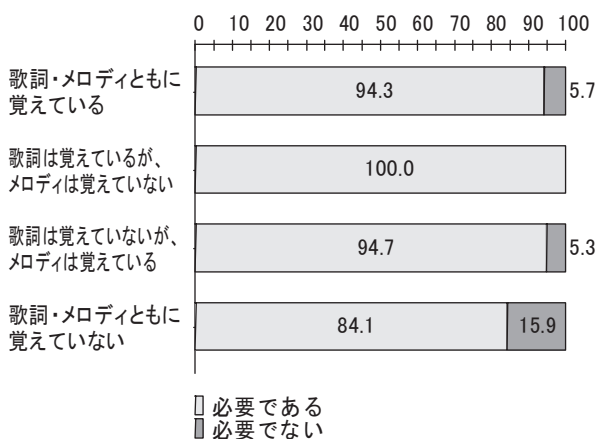


図6. 中学校校歌の記憶と校歌の必要性

校歌は必要だと思うか × 高校校歌を思い出すことがあるか

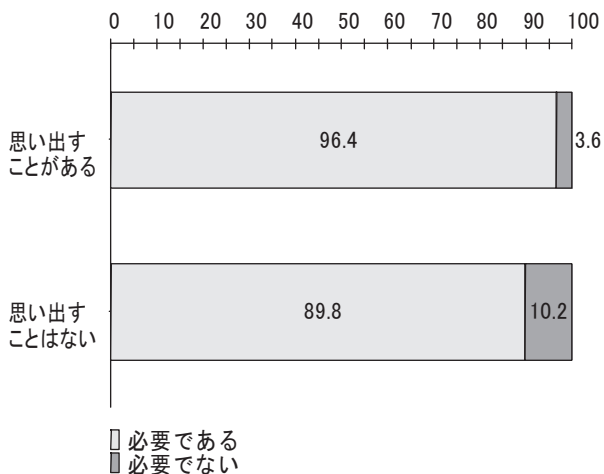


図7. 高校校歌を思い出すことと校歌の必要性

(15) 長く歌い継がれていった方がよいか

長く歌い継がれた方がよい・・・84.5% (男子80.3%, 女子86.7%)

時代の変化とともに変わった方がよい・・・3.9% (男子5.8%, 女子2.8%)

どちらも言えない・・・11.7% (男子13.9%, 女子10.4%)

この項目についても「長く歌い継がれた方がよい」が女子が男子より数%ほど多いが有意な差ではなかった。

また、クロス集計を行うと、「校歌が嫌いだった者」

校歌は長く歌い継がれていった方がよいと思うか × 性別

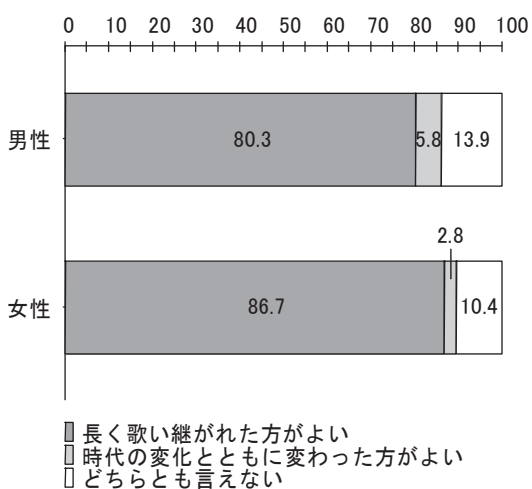


図8. 長く歌い継がれていったほうが良いか

校歌は長く歌い継がれていった方がよいと思うか × 高校校歌は好きだったか

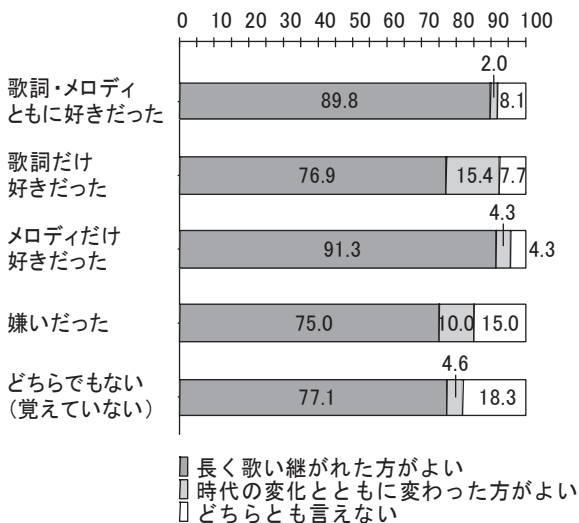


図9. 高校校歌の好き嫌い と長く歌い継がれた方がよいかの関係

「覚えて居ない」「思い出さない」者の間でも「長く歌い継がれて欲しい」との回答が多いことがわかる。ただし、「校歌は必要、必要でない」の群別にみると、明瞭な違いが見られる。「必要無い」と思う人は「長く歌い継がれて行ってほしい」ははっきりと少なく「どちらとも言えない」が過半数となっている。

校歌は長く歌い継がれていった方が  
よいと思うか × 校歌は必要だと思うか

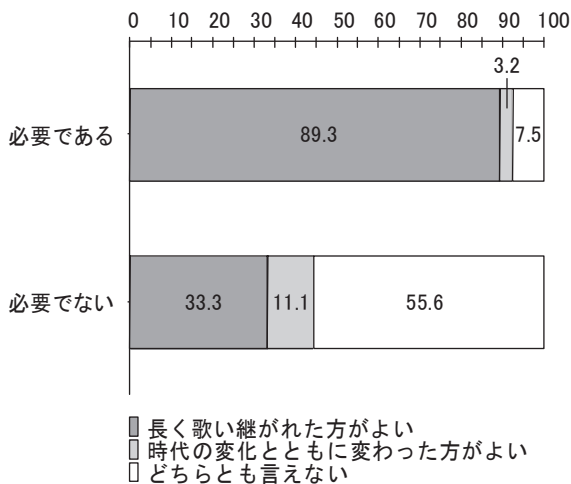


図10. 校歌の必要性和歌い継がれる方が良いかの関係

#### (16) 歌い継がれた方がよい理由

世代の違う人ともつながりを持てる、  
その学校の歴史を表しているから、  
愛着が湧く、  
親兄弟と一緒に歌えて楽しい、  
学校を作った時の思いが込められているから、  
時代や校舎が変わっても変わらないものがほしい、  
その地域の歴史を著わすものだから、  
近代的な校歌は校歌っぽくなくて嫌、  
卒業生と共有できるから、  
大人になってからも歌えるように変わってほしくない、

伝統だから、  
その学校に通うみんなが歌ってきたものだから、  
歴史を受け継いでいるという実感がある、

#### (16-2) 時代の変化とともに変わった方がよいと思う理由

曲調がパツとこない、  
歌詞が昔の言葉で難しいから、  
子どもの好きな曲が変わっている、  
伝統を残すのも大切だが、時代の流れで言い回しなどを変える必要が有る気もする、

(17) その他の集計結果、

1. 小学校校歌、中学校校歌、高校校歌のそれぞれについて、「覚えて居る」「好きだった」「思い出すことがある」は相互に関係していた。
2. 有意な差がある項目と差が有意でない項目があるが、一貫して女子の方が校歌を、「覚えて居る」「思い出すことがある」「好きだった」「必要である」「長く歌い継がれた方がよい」と回答していた。
3. 「通学時と同じ地域に住んでいる」の、ハイ、イエ、と関連するのは、「中学校校歌を思い出すことがあるか」と「中学通学時と同じ地域にいるか」の間のみであった。同じ地域に住む者の方が「思い出すことが多い結果となっている。ただし、女子回答者の方が多く在学中と同じ地域に住む者が多いということの結果の解釈に際しては考慮しなければならないだろう。

中学校校歌を思い出すことがあるか ×  
現在も中学校通学時と同じ地域にいるか

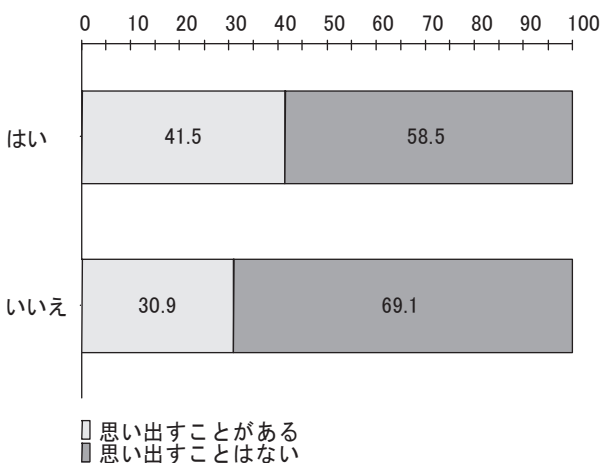


図11. 在学中の地域に住むかどうかと中学校校歌を思い出すかどうかの関係

## II. 掲示板「発言小町」の書き込み

本年3月3日、読売新聞の「発言小町」の「話題」のカテゴリーにトピックス立てたところ、数日のうちに約50人ほどの人から書き込みがあった。全員が卒業した人、20代から高齢者まで。「好きじゃない」は少数、好きな人が多い（これは、関心がある人がこのトピックスに目が行くし、書き込みをするだろうから当然だが）。郷里を離れて懐かしむ人と、地元に住み続けていて、自分の子どもと一緒に歌うという人も居た。

入学して初めて聞いた時から気に入った人と、なんども歌ってから親しみを持つ人も。幼稚園の園歌、地

域の市歌も好かれている。校歌は同窓会だけでなく、結婚披露宴で新郎あるいは新婦の同級生たちが歌ったり、また在学中に校歌の替え歌を歌って、卒業後は替え歌のほうをよく覚えているという人、など、様々である。

### 【全体的考察】

本稿では児童・生徒にとって校歌はどんな影響を及ぼすのかを知る手掛かりとして、現在大学生となっている人たちに質問紙調査を行い、彼らが小中学校・高校時代に歌った校歌について尋ねた。また補足資料として、一般社会人に出身学校の校歌をどのように受け止めて居るか尋ねた。

集計結果を見ると、90%以上の者が「校歌は必要だ」と回答し、また「長く歌い継がれて行って欲しい」という者も80%を超えて居た。意外なことに、「校歌が嫌いだった」と答えた者でも「校歌が必要」「長く歌い継がれて行って欲しい」と回答している者が少なかった。

宮島（2008）は小中学校の音楽担当者に聞きとりを行ったところ、「校歌の存在は行事のために練習する。だから、普段は歌わない歌である」とか「校歌は式次第の一部であり、ただの道具であり、とりあえず一番は覚えさせると行事の時は大丈夫」と考えている教師も居たという。中学校の音楽教師に「校歌は有った方がいい。受け継がれた方がいい、と考えている生徒が多い」との調査結果を示すと、「大嫌いなのに信じられない」と現場とのギャップを改めて痛感していたという。また、他の教師は「教えるのがしんどい。残らない」と校歌本来の存在意義について、校歌を指導する教師と児童・生徒の間に大きな隔たりを感じて居たと指摘する。音楽教師の印象では、生徒は音楽の教科書に載っている歌の方が好きであって、校歌は好きでなさそうなのに、卒業して年月が経過して思い出す時に、「心に残る歌」と成る不思議な歌、と語る教師も居たと述べている。

在学当時は校歌が嫌いだったが、今思うと「校歌から連想するもの」の回答に見るように、当時の学校生活・同級生・先生・郷里の風物などと結び付いて懐かしく思い出されることが多いのだろう。校歌はコミュニティソングの一種だと宮島は述べる。学校という集団の一員としての自覚を持たせて、その学校の児童・生徒としてのアイデンティティを形成させるようだ。

個々の校歌の歌としての魅力もまた様々なので、そ

れも愛着を持たれる要因であろう。また、昼休みに校歌を流したり、下校時間に流すなどの学校と式典にだけ歌うという学校もあって、学校における校歌の使い方の違いも影響するだろう。在学中に住んだ地域に住み続けて居る者と別の地域に住む者の間での校歌を受け止める違いを見ると、大きな違いは無い。地元に住むの方が覚えて居ることも思い出すことがやや多いように見える。これは、「思い出すきっかけ」の回答に学校の近くを通った時、学校を見た時、などが挙げられているように、きっかけが多いからかも知れない。どの程度強い思いで想起するかについて今回の調査からは把握できて居なかった。

校歌は在學生を学校という集団に結びつけ、愛着を持たせる役割を持っている一方で、学校が好き、学校生活が充実していた人にとって学校の一部として校歌にも愛着を持つという一面があるのではないだろうか。「おぼえていない理由」に「高校に愛着がなく・・・」と記して居た回答が有った。また、掲示板への書き込みに「中学校の校歌は全く覚えていません。これは、中学時代にはいい思い出が無いためでしょう。つまり、楽しかった学校生活なら、行事にも積極的に参加したり、校歌を歌うのも好きでしょうし、暗い学校生活なら、校歌にも愛着がわきようがない、ということでしょうか」と記述している方が居た。また別の40代半ばという男性は「私は出身高校が大好きで愛校心の塊です」という書き出しで、卒業後も同窓会で校歌を歌って盛り上がると述べ、さらに「ああああ、こうして書いているだけでも愛校心が熱くたぎります・・・つくづく幸せな高校時代だったなと思います」と結んでいる。学校生活の楽しさと校歌の好き嫌いは関係が有るのではないだろうか。また、61歳の男性は「高校を卒業して43年になりますが、今でも校歌の一番を覚えております・・・校歌を歌う時、自分が18歳の時を思い出します」と記している。大庭（大庭茂美 1996）は「学校教育の潜在的カリキュラム」として校訓・校章とともに校歌を取り上げているが、校歌は他の二つがステイックであるのに対して、遥かにダイナミックなインパクトを児童・生徒に及ぼしているのではないかと思われる。

### 【文献】

大庭茂美 1996 「校歌・校訓・校章の研究（1）」

九州教育学会研究紀要 24, p.117-124.

牛島達郎 2003 「校歌に関する調査研究・パート I」

福岡女学院大学紀要. 人文学部編 11, p.A 45-A

- 牛島達郎 2005 「校歌に関する調査研究・パートⅡ」  
福岡女学院大学紀要. 人文学部編 13 p.A29-A49
- 宮島幸子 2008 「校歌の文化的役割」  
京都文教短期大学研究紀要 47 p.90-96.
- 小川隆章 2008 「校歌研究の試み」 日本応用心理学  
会第75回大会発表論文集 p. 45
- 小川隆章 2009 「研究資料・校歌について」  
環太平洋大学研究紀要 2, p. 121-128.
- 宮島幸子 2009 「校歌の歌詞に見る心の原風景」  
京都文教短期大学研究紀要 48 p. 111-116
- 鈴木茉莉花 2009 「歌と帰属意識の醸成—大学校歌  
と大学への愛着の関係について」  
恵泉アカデミア (恵泉女学園大学) 14, p. 219-243

(平成22年11月19日受理)